

尊光寺報

第117号

徳島県阿波市市場
町大野島字天神41
尊光寺

正信偈講座⑫

(赤い経本七巻)

ふりほうむりようむいへんこう
普放無量無辺光
 しょうじょうかんぎちえいこう
清浄歡喜智慧光
 ちようじちがっこうしょうじんせつ
超日月光照塵刹 一切群生蒙光照

阿弥陀さまの十二の光その五

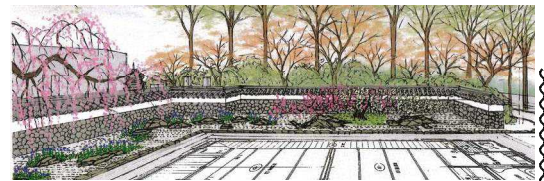
数回前から阿弥陀さまの十二の光について話をしています。「あまねく、①無量②無辺光③無礙④無対⑤光炎王⑥清浄⑦歡喜⑧智慧光⑨不断⑩難思⑪無称光⑫超日月光を放ちて塵刹を照らす。一切の群生、光照を蒙る」とある部分です。今回はそのうちの⑨不断と⑩難思という光の意味を味わいましょう。

⑨「不断」とは、「常に断えずはたらき続ける」という仏さまの徳を表す光です。一時も休まず、あなたの側にいますよと優しくはたらき、私たちに安心を与えて下さるのです。私たちは普段、蛇口をひねると水が出ることを知っています。昔、水の乏しい国から日本に来た人が、そのことにビックリして、土産にと、ホームセンターで蛇口を買おうとした方がいたようです。しかしもちろん蛇口だけを買ったとしても、配水管があり、そこまで水が常の流れでないと、蛇口をひねっても水は出てきません。断水になった時、私たちは水が不足してしまうのはと不安に駆られ、断水が復旧して蛇口をひねる時、その有り難さを再認識します。阿弥陀さまの不断光という光は、断えることなく常にあなたのそばに寄り添っていますよという優しさを表しています。常に仏さまのことを意識することがなくても、手を合わせお念仏を申す時、蛇口をひねり水が出てくるように、そこには阿弥陀さまの優しさが広がるのではないのでしょうか。そのような安心の中に私たちは生かされているのです。

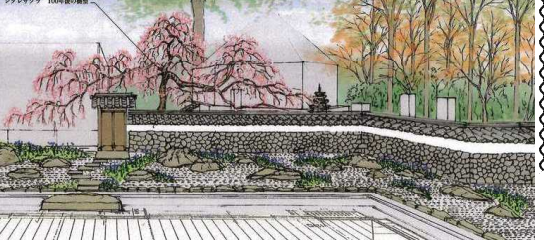
⑩「難思」とは、「私たちの考え、思慮もおよばない」という意味です。摩訶不思議という言葉と同じ意味でしょう。考えてみれば、阿弥陀さまには何のご縁もなかったこの私をどうして救おうとなさるのか、嘘や偽り、怒りを繰り返して、地獄に墮ちるべきこの私の身がどうして念仏ひとつで救われるのか、考えても考えても、凡夫の我々には分かりかねることばかりです。そのような仏さまに出会う時、それは不思議さと同時に摩訶不思議と驚きも涌き上がってきます。人間の浅知恵では知ることの

尊光寺庭園および集合納骨墓工事

できない仏さまを讃えたのがこの難思光でありましょう。



現在、書院周辺の庭園の造営ならびに集合納骨墓の建設を行っている。庭園は堀で周囲をかこみ、堀の向こうには枝垂れ桜、庭には石を配し紅白の梅を植え込む。集合納骨墓はシルクロードにある仏塔をイメージし、現在は石材加工が終了している。



-書院より南を望む-

一本山 本願寺 伝灯奉告法要 ご満座 尊光寺参拝団は4月14日に参拝



ご本山本願寺において昨年の10月より10期80日にわたって修行された「伝灯奉告法要」(宗派のトップである門主の代替わりを仏祖に奉告する法要)が5月31日にご満座を迎え終了した。法要期間中、本願寺には45万4996人が訪れ、多くの門信徒がこの慶事を喜び、念仏者としての自覚を新たにしました。



尊光寺参拝団は毎年恒例の団参として、4月14日に約80名で参拝。ご門主の代替わり法要は一生に一度遇えるかどうかの法縁、よい参拝になりましたとの声が多く聞かれた。また法要の後に行われた「つどい」では門主ご一家の言葉などがあつた。特にご門主の長男敬さん(5才)の手話をまじえた挨拶には一同が目を細め、堂内は温かな雰囲気

法要・行事のご案内

◎ 徳島仏教婦人会連盟研修会

【6月27日】午前10時半より総会、午後1時より講演場所 徳島あわぎんホール
 講演 「医療現場における僧侶の関わり」
 講師 山本成樹師(本願寺あそかびハロー病院)
 費用 3千円(弁当代・バス費(お寺・あわぎんホール)午後からの講演のみでも参加可。
 どなたでも参加・聴講できます。問い合わせは尊光寺まで。

◎ 本願寺児童念仏奉仕団

【8月1、2日】(土・日)「本願寺DAYS」
 小学生から中学生を対象にした本願寺一泊体験
 ご本山本願寺で、お勤めや掃除、ゲームを楽しみながら貴重な夏休みの体験を。保護者、祖父母同伴での参加も可。
 費用一万円。(詳細は別紙)。
 申込み締め切り6月25日。申込みは尊光寺まで。

◎ キッズサンガ「京都 本願寺へお参りしよう」

【8月23日】7時出発
 日帰りの本山本願寺ならびに鉄道博物館への旅
 子どもさんも一緒に、子どもだけでも、大人だけでも参加可。
 費用 子どもも三千円、大人五千円。(詳細は別紙)
 申込みはお早めに尊光寺まで。バスがいっぱいになり次第締切。

◎ 孟蘭盆会法要

【8月15日】午後6時より、尊光寺本堂
 ※別途、家庭でのお盆参りの依頼はお早めにお寺まで。

◎ 秋の彼岸会法要

【9月23日・24日】両日ともに午後1時より
 ※23日は仏教婦人会による特別養護老人ホームお接待日です。朝9時頃よりお手伝いお願致します。
 (法話 本願寺派布教使 高尾隆徳師)

平成29年 年忌表

1周忌	平成28年
3回忌	平成27年
7回忌	平成23年
13回忌	平成17年
17回忌	平成13年
25回忌	平成5年
33回忌	昭和60年
50回忌	昭和43年
61回忌	昭和32年
100回忌	大正7年
150回忌	慶応4年
200回忌	明治元年
250回忌	文化15年
250回忌	文政元年
250回忌	明和5年
300回忌	享保3年

専如門主ご親教(新しく就任されたご門主のご法話)

「念仏者の生き方」

仏教は今から約2500年前、釈尊がさとりを開いて仏陀となられたことに始まります。わが国では、仏教はもともと仏法と呼ばれていました。ここでいう法とは、この世界と私たち人間のありのままの真実ということであり、これは時間と場所を超えた普遍的な真実です。そして、この真実を見抜き、目覚めた人を仏陀といい、私たちに苦悩を超えて生きていく道を教えてくれるのが仏教です。



ご門主ご一家(伝灯のどい)

仏教では、この世界と私たちのありのままの姿を「諸行無常」と「縁起」という言葉で表します。「諸行無常」とは、この世界のすべての物は一瞬もとどまることなく移り変わっているということであり、「縁起」とは、その一瞬ごとくすべての物事は、原因や条件が互いに関わりあつて存在しているという真実です。したがって、そのような世界のあり方の中には、固定した変化しない私というものは存在しません。

しかし、私たちはこのありのままの真実に気づかず、自分というものを固定した実体と考え、欲望の赴くままに自分にとって損か得か、好きか嫌いかなど、常に自己中心の心で物事を捉えています。その結果、自分の思い通りにならないことで悩み苦しんだり、争いを起こしたりして、苦悩の人注から一歩たりとも自由になれないのです。このように真実に背いた自己中心性を仏教では無明煩惱といい、この煩惱が私たちを迷いの世界に繋ぎ止める原因となるのです。なかで代表的な煩惱は、むさぼり・いかり・おろかさの三つで、これを三毒の煩惱といえます。

親鸞聖人も煩惱を克服し、さとりを得るために比叡山で20年にわたりご修行に励まれました。しかし、どれほど修行に励もうとも、自らの力では断ち切れない煩惱の深さを自覚され、ついに比叡山を下り、法然聖人のお導きによって阿弥陀如来の救いはたらきに出遇われました。阿弥陀如来とは、悩み苦しむすべてのものをそのまま救い、さとりの世界へ導こうと願われ、その願い通りにはたらき続けてくださっている仏さまです。この願いを、本願といえます。我欲の世界に迷い込み、そこから抜け出せない私を、そのままの姿で救うとはたらき続けて

いてくださる阿弥陀如来のご本願ほど、有り難い慈悲はありません。しかし、今ここの救いの中にありながらも、その慈悲ひとすじにお任せできない、よろこべない私の愚かさ、煩惱の深さに悲嘆せざるをえませ

私たちが阿弥陀如来のご本願を聞かせていただくことで、自分本位にしか生きられない無明の存在であることに気づかされ、できる限り身を慎み、言葉を慎んで、少しずつでも煩惱を克服する生き方へとつくり変えられていくのです。それは例えば、自身のあるあり方として、欲を少なくして足ることを知る「少欲知足」であり、他者に対しては、穏やかな顔と優しい言葉で接する「和顔愛語」という生き方です。たとえ、それらが仏さまの真似事といわれようとも、ありのままの真実に教え導かれて、そのように志して生きる人間に育てられるのです。このことを親鸞聖人は門弟に宛てたお手紙で、「(あなた方は)今、すべての人びとを救おうという阿弥陀如来のご本願のお心をお聞きし、愚かなる無明の酔いも次第にさめ、むさぼり・いかり・おろかさという三つの毒も少しずつ好まぬようになり、阿弥陀仏の薬をつねに好む身となつておられるのです」とお示しになられています。たいへん重いご教示です。



生きていくことで、私たちが他者の喜びを自らの喜びとし、他者の苦しみを自らの苦



しみとするなど、少しでも仏さまのお心になろう生き方を目指し、精一杯努力させていたたく人間になるのです。国の内外、あらゆる人びとに阿弥陀如来の智慧と慈悲を正しく、わかりやすく伝え、そのお心になろうよう私たち一人ひとりが行動することにより、自他ともに心豊かに生きていくことのできる社会の実現に努めたいと思います。世界の幸せのため、実践運動の推進を通し、ともに確かな歩みを進めてまいりましょう。

五ヶ寺連研をのぞいてみませんか。

鴨島町・石井町の浄土真宗本願寺派の寺院五ヶ寺が連続して講座を開いています。仏事作法や仏教の話を気軽に聞いてみませんか。副住職も講師の一人として共に学んでいます。

興味ある方はどうぞ気軽に副住職へ連絡下さい。

- 7月6日、19時、法座お説教(鴨島 徳住寺)
- 9月16日、19時半、親鸞聖人の生涯(石井 西方寺)
- 11月11日、19時半、お釈迦様について(石井 光明寺)
- 1月20日、18時半、仏教讃歌(鴨島 西円寺)
- 3月10日、18時半、正信偈の解説(鴨島 徳住寺)

副住職担当

NHK文化センター

徳島教室のご案内

各講座、受講生募集中

6回半年で13,478円

問い合わせは、

徳島駅前NHK文化センター

(電話 083-611-6881)



● 仏教講座「歎異抄」を読む

7月10日、8月21日、9月11日、...

「善人なをもて往生をとぐ、いはんや悪人をや」で知られる『歎異抄』を読みながら親鸞聖人の教えを味わいます。

● 仏教講座「御文章」を読む

7月7日、8月4日、9月8日、...

「朝には紅顔ありて夕には白骨となれる...」本願寺八代蓮如上人が残した『御文章』を読みながら、仏教に触れてみませんか。

● 仏教講座「伝絵で学ぶ親鸞聖人」

7月8日、8月19日、9月16日(3回で完結)短期講座

親鸞聖人の一生が画かれた『伝絵』を見ながら、親鸞聖人の生涯とその教えにせまります。



きょうと ほんがんじ まい ～ 京都 本願寺へお参りしよう ～

みんなで一緒に、京都 本願寺へお参りしましょう。仏さまのお話を聞いたり、鉄道博物館で、楽しい思い出を作りましょう！お友達もさそって参加しよう！

子ども達だけでも、お父さんやお母さんと、または、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒でもオッケーです。

【日 時】 8月23日(水曜日)

07:00出発 川島・阿波方面～鴨島～石井～徳島 ⇒ 京都 ⇒ 夕刻帰宅

【目的地】 本山 本願寺(西本願寺)、 京都鉄道博物館

【対象】 乳幼児～小・中学生、高校生、大人、家族など、ご縁のある方(大人だけでも参加可)
(未就学児の方は大人の同伴をお願いします)

【参加費】 子ども3000円、大人5000円、6歳未満無料(バス代、昼食、夕食弁当、鉄道博物館込)

【持ち物】 聖典(お経の本、無い方はお貸しします)、お念珠、保険証、動きやすい服装で

【帰敬式】 希望者は、おかみそりの式を受けて「釈〇〇」の法名を頂くことができます。

(帰敬式懇志:未成人5千円・成人1万円)



お問い合わせ、参加希望の方は、お寺までお申し出下さい。

申し込み締め切り、8/16、お名前、年齢、連絡先、をお伝え下さい。



バスの定員いっぱいになりましたら申し込みを締め切ります。

<保護者の方へ>

平素は寺院活動にご理解とご協力を頂き有り難うございます。「キッズサンガ」は子供たちや青少年の育成のためにお寺を中心として、阿弥陀さまのおこころを伝え、いのち輝く人生を送ってもらいたいという願いのもと行うものです。やさしさや思いやりの心の芽は育てなければ伸びません。お寺の活動にふれ、宗教的情操豊かな青少年の育成を目指します。

〔徳島中組事務〕 尊光寺 赤松信映

090-4788-4237 TEL,FAX0883-36-3026



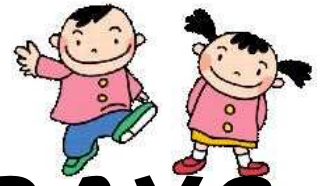
京都鉄道博物館



本願寺



児童念仏奉仕団



子どものつどい「本願寺DAYS」

ほんがんじ
～ 本願寺 1泊体験 ～

お友達と一緒に、京都本願寺へお参りしませんか。本願寺のお掃除、楽しいゲーム、仏さまのお話を聞いたり、楽しい夏の思い出を作りましょう！友達もさそって参加しよう！

子ども達だけでも、お父さんやお母さんと、または、おじいちゃんやおばあちゃんとの一緒でもオッケーです。（保護者の方には見守りの他、お手伝いをいただきます。）

【日時】 8月1日(火曜日)13:00～8月2日(水曜日)11:50

【場所】 京都 西本願寺 集合（もしくはJR京都駅バス停で出迎えることが可能です）

【宿泊】 いしちょう 京都市中京区(075-222-1101)

【対象】 小学生～中学生

【参加費】 10000円（宿泊・夕食・朝食込み）（京都までの交通費は含みません）

【持ち物】 聖典（お経の本、無い方はお貸しします）、お念珠、保険証、宿泊セット、（動きやすい服装で）

【帰敬式】 ご希望の方は、おかみそりの式を受け、「釈〇〇」の法名を頂くことができます。

事前に申し出下さい

【保険】 本行事期間中は宗派指定の傷害（レクリエーション）保険に加入いたしますので、個別に保険加入料は徴収いたしません。

お問い合わせ、参加希望の方は、お寺までお申し出下さい。

申し込み締め切り、6/25、お名前、年齢、連絡先、をお伝え下さい。

<保護者の方へ>

平素は寺院活動にご理解とご協力を頂き有り難うございます。この度「キッズサンガ」を企画致しました。「キッズサンガ」は子供たちや青少年の育成のためにお寺を中心として、阿弥陀さまのおこころを伝え、いのち輝く人生を送ってもらいたい、という願いのもと行うものです。やさしさや思いやりの心の芽は育てなければ伸びません。お寺の活動にふれ、宗教的情操豊かな青少年の育成を目指します。

〔主催：浄土真宗本願寺派〕

〔募集：四州教区少年連盟〕

徳島中組事務 尊光寺 赤松信映

090-4788-4237 TEL,FAX0883-36-3026

【基本日程】

【8月1日】

12:00～

集合・受付

13:00～

オリエンテーション

開会式

13:40～

清掃奉仕

14:10～

謎解きゲーム

夕方のお勤め

16:45

お宿へ



【8月2日】

06:00～

朝のお勤め

08:50～

交流タイム

09:55～

おつとめ・つどい

11:00～

記念撮影

11:35～

閉会式 解散

